

令和 7（2025）年度「若者未来チャレンジ応援事業」業務委託公募型プロポーザルの
質問内容及び回答について

	質 問 内 容	回 答
1	事業目的の「新しいとちぎづくり」とは具体的にどのようなものでしょうか。	県では、県政の基本指針として「とちぎ未来創造プラン」を策定し、「人が育ち、地域が活きる未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現を目指しています。 「新しいとちぎづくり」とは、プランにおいて目指すとちぎの将来像の実現に向け、多様な主体が行う様々な取組を指すものであり、本事業は「新しいとちぎづくり」への若者の参画を推進するとともに、その主役となる若者リーダーの育成を目的とするものです。
2	本事業における、若者および若者団体の定義を教えてください。	本事業では、栃木県内に住民票を有する、又は栃木県出身、県内の学校や職場に通学・通勤している高校生から 29 歳までの者を若者とし、本事業における若者 2 名以上が中心となって活動する団体を若者団体とします。
3	本事業における、メンターおよびアドバイザーについて、それぞれの言葉の定義および役割について具体的に教えてください。	本事業におけるメンターとは、若者団体の活動状況等を把握し、直接的または間接的に指導・助言を行う者としてします。（定期的に関わる者） アドバイザーとは、専門的知見等から、若者団体に求められる支援や助言、フィールドワーク等を提供する者としてします。（随時に関わる者）
4	ミライチャレンジ事業について、若者団体の採択数およびその内訳（若者団体のみの事業、企業と若者による協働事業のそれぞれの採択数の内訳）について教えてください。	ミライチャレンジプロジェクト事業の若者団体の採択数は、「最大10団体」とし、若者団体のみの事業・企業と若者による協働事業については、それぞれの採択数を定めません。